

18 学術業績

A. 国際学会・国際シンポジウム

1 実績なし

B. 学会総会

〔呼吸器内科〕

- 1 (演題) 医師少数地域における肺炎地域連携パス運用について
(発表者) 波多野 聡、国兼 浩嗣、柘植 範子、山中 良二、藤本 祥太、木村 哲夫、児島 章
(学会名) 第 65 回日本呼吸器学会学術集会
(開催地、年月日) 東京都、令和 7 年 4 月 13 日

〔腎臓内科〕

- 1 (演題) 無治療で自然軽快傾向にある IgG4 関連疾患の一例 (会議録)
(発表者) 金子 志織、高村 毅、来谷 翠星、松本 直人、高橋 康人、笠井 健司、川村 哲也、横尾 隆
(学会名) 第 55 回日本腎臓学会東部学術大会
(開催地、年月日) 神奈川県横浜市、令和 7 年 9 月 27 日

〔脳神経内科〕

- 1 (演題) 重症筋無力症クリーゼに対するエフガルチギモド皮下注製剤の治療効果に関する検討
(発表者) 井上 友梨香、佐山 智咲、幕 昂大、中川 裕亮、河野 優
(学会名) 第 66 回日本神経学会総会
(開催地、年月日) 大阪府、令和 7 年 5 月 29 日
- 2 (演題) 血液浄化療法直後に補体標的抗体製剤を用いて寛解に至った全身型重症筋無力症の 1 例
(発表者) 浅井 俊樹、去川 裕基、大石 なつみ、幕 昂大、中川 裕亮、河野 優
(学会名) 第 43 回日本神経学治療会
(開催地、年月日) 熊本県、令和 7 年 11 月 6 日
- 3 (演題) 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーにおける Abnormal

plantar normal sural sensory responses の意義に関する検討

(発表者) 河野 優、去川 裕基、幕 昂大、中川 裕亮
(学会名) 第 55 回日本臨床神経生理学会
(開催地、年月日) 沖縄県、令和 7 年 11 月 13 日

[リウマチ・膠原病内科]

- 1 (演題) シェーグレン症候群における中枢性感作症候群の検討
(発表者) 野田 健太郎、伊藤 晴康、浮地 太郎、吉田 健、黒坂 大太郎
(学会名) 第 69 回 日本リウマチ学会総会・学術総会
(開催地、年月日) 福岡県福岡市、令和 7 年 4 月 24 日～26 日
- 2 (演題) 免疫グロブリン大量静注療法の効果予測因子
(発表者) 浮地 太郎、吉田 健、野田 健太郎、伊藤 晴康 他
(学会名) 第 69 回 日本リウマチ学会総会・学術総会
(開催地、年月日) 福岡県福岡市、令和 7 年 4 月 24 日～26 日

[小児科]

- 1 (演題) ループス腸炎によるイレウスを初発症状とし、診断に難渋した全身性エリテマトーデス (SLE) の 1 例
(発表者) 野中 絵美
(学会名) 第 52 回日本小児栄養消化器肝臓学会学術集会
(開催地、年月日) 栃木県宇都宮市、令和 7 年 9 月 26 日～28 日
- 2 (演題) 2 歳未満アトピー性皮膚炎患児における TARC および SCCA2 の臨床症状を考慮した臨床的有用性
(発表者) 関純令
(学会名) 第 74 回日本アレルギー学会学術大会
(開催地、年月日) 東京都千代田区、令和 7 年 10 月 24 日～26 日

[外科]

- 1 (演題) 重症逆流性食道炎による食道狭窄に対して噴門形成術を行うことで症状の改善が得られた 1 例
(発表者) 坪井 一人、若林 久美子、良元 和久、梶本 徹也

- (学会名) 第 61 回 日本腹部救急医学会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 3 月 20・21 日
- 2 (演題) 外科領域における特定行為研修修了者導入による取り組みと課題
(発表者) 若林 久美子、梶本 徹也、坪井 一人、良元 和久
(学会名) 第 61 回 日本腹部救急医学会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 3 月 20・21 日
- 3 (演題) 食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下噴門形成術の治療成績に肥満がおよぼす影響
(発表者) 坪井 一人、小村 伸朗、星野 真人、増田 隆洋、坂下 裕紀、福島 尚子、竹内 秀之、高橋 慶太、湯田 匡美、矢野文章、衛藤 謙
(学会名) 第 125 回 日本外科学会定期学術集会
(開催地、年月日) 宮城県仙台市、令和 7 年 4 月 10～12 日
- 4 (演題) 高齢の絞扼性腸閉塞患者における modified Glasgow Prognostic Score と手術成績との関係
(発表者) 坪井 一人、小村 伸朗、星野 真人、増田 隆洋、坂下 裕紀、福島 尚子、竹内 秀之、高橋 慶太、湯田 匡美、矢野文章、衛藤 謙
(学会名) 第 80 回 日本消化器外科学会総会
(開催地、年月日) 兵庫県神戸市、令和 7 年 7 月 16～18 日
- 5 (演題) 腸切除を要する絞扼性腸閉塞患者の特徴
(発表者) 坪井 一人、福島 尚子、良元 和久、吉田 清哉、鈴木 俊雅、梶本 徹也、小村 伸朗、星野 真人、増田 隆洋、坂下裕紀、矢野 文章、衛藤 謙
(学会名) 第 23 回 日本消化器外科学会大会
(開催地、年月日) 兵庫県神戸市、令和 7 年 10 月 30～11 月 1 日
- 6 (演題) 術前 CT における大動脈石灰化は胃癌における予後予測となるか
(発表者) 福島 尚子、高野 裕太、佐藤 和秀、坪井 一人、湯田 匡美、増田 隆洋、高橋 慶太、小川 匡市、矢野 文章、衛藤

- 謙
- (学会名) 第 125 回 日本外科学会定期学術集会
(開催地、年月日) 宮城県仙台市、令和 7 年 4 月 9～11 日
- 7 (演題) 最新・最良の周術期栄養管理を考える胃癌手術と GLIM 基準低栄養の関連
(発表者) 福島 尚子、坪井一人、矢野 文章、衛藤 謙
(学会名) 第 50 回 日本外科系連合学会学術集会
(開催地、年月日) 福井県福井市、令和 7 年 5 月 21～23 日
- 8 (演題) 巨大食道裂孔ヘルニアに対する胃壁固定とメッシュ補強の位置づけ
(発表者) 福島 尚子、坪井一人、星野 真人、増田 隆洋、坂下 裕紀、竹内 秀之、小村 伸朗、矢野 文章、衛藤 謙
(学会名) 第 79 回 日本食道学会学術集会
(開催地、年月日) 京都府京都市、令和 7 年 6 月 26～27 日
- 9 (演題) 高齢者に対する胃癌手術の治療成績と骨密度低下が与える影響
(発表者) 福島 尚子、坪井 一人、高野 裕太、佐藤 和秀、湯田 匡美、増田 隆洋、高橋 慶太、小川 匡市、矢野 文章、衛藤 謙
(学会名) 第 80 回 日本消化器外科学会総会
(開催地、年月日) 兵庫県神戸市、令和 7 年 7 月 16～18 日
- 10 (演題) 術前 CT における骨粗鬆症性椎体骨折と胃癌における予後予測因子としての検討
(発表者) 福島 尚子、坪井 一人、増田 隆洋、湯田 匡美、高橋 慶太、矢野 文章、衛藤 謙
(学会名) 第 23 回 日本消化器外科学会大会
(開催地、年月日) 兵庫県神戸市、令和 7 年 10 月 30 日～11 月 1 日
- 11 (演題) 術前 CT における骨粗鬆症性椎体骨折と胃癌における予後予測因子としての検討
(発表者) 福島 尚子、坪井 一人、増田 隆洋、湯田 匡美、高橋 慶太、矢野 文章、衛藤 謙

(学会名) 第 23 回 日本消化器外科学会大会
(開催地、年月日) 兵庫県神戸市、令和 7 年 10 月 30 日～11 月 1 日

- 12 (演題) 術前 CT における骨粗鬆症性椎体骨折と胃癌における予後予測因子としての検討
(発表者) 福島 尚子、坪井 一人、鈴木 俊雅、矢野 文章、衛藤 謙
(学会名) 第 41 回 日本栄養治療学会学術集会
(開催地、年月日) 神奈川県横浜市、令和 8 年 2 月 13～14 日

- 13 (演題) 胃十二指腸潰瘍穿孔に対する緊急手術例における術前筋肉量低下の臨床的意義
(発表者) 福島 尚子、高橋 直人
(学会名) 第 53 回 日本潰瘍学会
(開催地、年月日) 熊本県熊本市、令和 8 年 2 月 22～23 日

〔産婦人科〕

- 1 (演題) びまん性子宮平滑筋腫症に伴う卵巣位置異常の不妊症症例に対し腹腔鏡下卵巣移動術が有用であった一例
(発表者) 田島 浩子
(学会名) 第 70 回日本生殖医学会学術講演会
(開催地、年月日) 東京都千代田区、令和 7 年 4 月 27 日

〔放射線治療科〕

- 1 (演題) 若手医師のための Radiology bootcamp 2025 診断・治療・IVR を横断！ Radiology Survival Quiz
(発表者) 江本 瑞希
(学会名) 第 61 回日本医学放射線学会秋季臨床大会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 10 月 17～19 日

〔歯科口腔外科〕

- 1 (演題) 骨軟骨腫を伴う顎関節偽痛風の 1 例
(発表者) 武内 信親
(学会名) 日本口腔外科学会
(開催地、年月日) 福岡県福岡市、令和 7 年 11 月 14～16 日
- 2 (演題) 中毒性表皮壊死症に対して口腔管理を行った 1 例

(発表者) 武内 信親
(学会名) 日本口腔外科学会
(開催地、年月日) 東京都千代田区、令和8年3月6～8日

〔中央放射線科〕

- 1 (演題) 災害を想定したチームの構築 ～アクションカードを使用したシミュレーションの実践と効果の検討～
(発表者) 鈴木 浩之
(学会名) 第33回日本心血管インターベンション治療学会
(開催地、年月日) 大阪府大阪市、令和8年7月18日

〔栄養科〕

- 1 (演題) 後腹膜膿瘍を伴うS状結腸癌に対して乳清タンパク質を用いた周術期管理が有効であった1例
(発表者) 中村 磨浪、谷津倉 融依、小俣 朋子、小池 恭子、磯崎 曜大、鈴木 俊雅、坪井 一人、福島 尚子、梅原 健人、鈴木 岳瑠
(学会名) 日本栄養治療学会
(開催地、年月日) 神奈川県横浜市、令和8年2月13日

〔看護部〕

- 1 (演題) 兼任 ICN による特定行為活用を通じた感染防止・治療適正化の実践報告
(発表者) 勝又 陸
(学会名) 第13回日本感染管理ネットワーク学会学術集会
(開催地、年月日) 福岡県福岡市、令和7年5月9日
- 2 (演題) 看護はリハビリテーション
(発表者) 滝 裕美
(学会名) アジア太平洋離床ネットワーク 日本離床学会 合同学術大会
(開催地、年月日) 東京都渋谷区、令和7年6月1日
- 3 (演題) 高齢心不全患者の脱水や栄養におけるタイムリーなフィジカルアセスメントの重要性
(発表者) 滝 裕美

(学会名) 第 22 回日本循環器看護学会学術集会
(開催地、年月日) 宮城県仙台市、令和 7 年 9 月 14 日

4 (演題) 病棟看護師の声を反映させた震災時初期対応研修の効果
(発表者) 井出 梨恵
(学会名) 第 56 回日本看護学会学術集会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 9 月 13 日

5 (演題) 血液造血器腫瘍患者に対する意思決定支援
(発表者) 鈴木 絵理奈
(学会名) 第 56 回日本看護学会学術集会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 9 月 13 日

6 (演題) ICU において初めてコーディネーターとなった看護師の困難感
(発表者) 水口 真実
(学会名) 第 56 回日本看護学会学術集会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 9 月 13 日

7 (演題) 特定行為研修終了看護師と看護管理者が考える「特定行為を活動する上で必要な直属の上司の支援」
(発表者) 秋山 ゆかり
(学会名) 第 63 回日本自治体病院学会
(開催地、年月日) 群馬県高崎市 令和 7 年 10 月 30 日

C. 地方会・講演会・研究会

[糖尿病・内分泌・血液内科]

- 1 (演題) 急性発症 1 型糖尿病による糖尿病性ケトアシドーシスに Hamann 症候群を合併した一例
(発表者) 浅田 健吾
(学会名) 第 99 回糖尿病学会中部地方会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 9 月 6 日～7 日
- 2 (演題) イメグリミンにより血糖管理の改善を認めた高齢 2 型糖尿病患者の 2 症例

(発表者) 山田 昂
(学会名) 第 99 回糖尿病学会中部地方会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和 7 年 9 月 6 日～7 日

- 3 (演題) DPP-4 IS から経口セマグルチドへ切り替えた日本人 2 型糖尿病患者における有効性予測因子の検索
(発表者) 廣津 貴夫
(学会名) GLP-1 カンファレンス in Fuji
(開催地、年月日) ロゼシアター、令和 7 年 12 月 11 日

[呼吸器内科]

- 1 (演題) 呼吸器診療ガイドラインから病態と吸入療法をみつめなおす～喘息と COPD を中心に
(発表者) 児島 章
(学会名) 第 4 回富士市吸入療法研修会
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 11 月 6 日

[腎臓内科]

- 1 (演題) 富士地区における CKD 診療の取り組み
(発表者) 高橋 康人
(学会名) 富士富士宮 IMAGINE 講演会
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 7 月 16 日
- 2 (演題) 地域連携における AKI
(発表者) 高橋 康人
(学会名) アストラゼネカ主催講演会 in 三島【高カリウム血症～早期発見と治療の重要性～】
(開催地、年月日) 三島市、令和 7 年 8 月 25 日
- 3 (演題) 2025 年版災害を乗り切るために知っておきたいこと
(発表者) 高橋 康人
(学会名) 富士市透析防災講演会
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 11 月 8 日

[脳神経内科]

- 1 (演題) Abnormal plantar normal sural sensory responses を呈し

- た慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーの1例
- (発表者) 河野 優、去川 裕基、高橋 麻葵、幕 昂大、中川 裕亮
- (学会名) 第172回日本神経学会東海北陸地方会
- (開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和7年6月28日
- 2 (演題) 硬膜外麻酔後に進行性神経障害を呈した癒着性くも膜炎の1例
- (発表者) 去川 裕基、衣袋 桃代、河野 優
- (学会名) 第174回日本神経学会東海北陸地方会
- (開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和7年3月7日
- 3 (演題) 食事摂取は良好であったにも関わらずWernicke脳症による遅発性の嚥下機能障害を呈した1例
- (発表者) 大石 なつみ、去川 裕基、幕 昂大、中川 裕亮、河野 優
- (学会名) 第257回日本内科学会東海地方会
- (開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和7年10月5日
- 4 (演題) 長期グリチルリチン酸内服により発症した偽性アルドステロン症の1例
- (発表者) 井上 友梨香、去川 裕基、田中 智之、幕 昂大、中川 裕亮、河野 優
- (学会名) 第258回日本内科学会東海地方会
- (開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和7年2月15日
- 5 (演題) 当院における多発性硬化症に対する疾患修飾薬の選択
- (発表者) 去川 裕基、幕 昂大、中川 裕亮、河野 優
- (学会名) Clinical Conference in Shizuoka
- (開催地、年月日) 静岡市、令和7年6月3日
- 6 (演題) 当院におけるレカネマブ診療. 第36回富士・富士宮もの忘れ検討会
- (発表者) 河野 優
- (学会名) 第36回富士・富士宮もの忘れ検討会
- (開催地、年月日) 富士市、令和7年7月20日

[心臓血管外科]

- 1 (演題) ハイリスク症例に対する心臓手術
(発表者) 深田 靖久
(学会名) 第 39 回富士シンポジウム
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 6 月 12 日

- 2 (演題) 大動脈瘤の取り扱いについて
(発表者) 深田 靖久
(学会名) 第 83 回富士循環器疾患研究会
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 8 月 7 日

- 3 (演題) 当科の診療体制
(発表者) 小澤 貴大、座長：深田 靖久
(学会名) Mt. Fuji network
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 11 月 5 日

- 4 (演題) 大動脈瘤の取り扱いについて
(発表者) 深田 靖久
(学会名) 富士医師会講演
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 11 月 20 日

- 5 (演題) 心臓病と心臓外科医の仕事
(発表者) 深田 靖久
(学会名) 第 33 回市民公開講座
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 11 月 22 日

[小児科]

- 1 (演題) 小腸カプセル内視鏡検査が診断の一助となった腸管重複症の一例
(発表者) 野中 絵美
(学会名) 第 160 回日本小児科学会静岡地方会
(開催地、年月日) 静岡市、令和 7 年 6 月 8 日

- 2 (演題) 小腸カプセル内視鏡所見を呈した Staphylococcus aureus 腸炎の一例
(発表者) 野中 絵美
(学会名) 第 22 回日本小児消化管感染症・免疫アレルギー研究会

(開催地、年月日) 埼玉県さいたま市、令和8年2月15日

〔外科〕

- 1 (演題) 爪楊枝による大腸穿孔性腹膜炎に対して腹腔鏡下手術を施行した1例
(発表者) 齋藤 有那、荒井 晶聖、福島 尚子、武田 光正、北村 博
顕、坪井 一人、良元 和久、吉田 清哉、鈴木 俊雅、梶本
徹也
(学会名) 第26回 静岡内視鏡外科研究会
(開催地、年月日) 静岡市、令和7年6月7日
- 2 (演題) 食道アカラシアに対して腹腔鏡下Heller-Dor手術を施行した
1例
(発表者) 荒井 晶聖、福島 尚子、坪井 一人、齋藤 有那、武田 光
正、北村 博顕、良元 和久、吉田 清哉、鈴木 俊雅、梶本
徹也
(学会名) 静岡県外科医会 第252回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、令和7年9月13日
- 3 (演題) 外科治療を要した良性下行結腸狭窄の1例
(発表者) 齋藤 有那、福島 尚子、坪井 一人、荒井 晶聖、武田 光
正、北村 博顕、良元 和久、吉田 清哉、鈴木 俊雅、梶本
徹也
(学会名) 静岡県外科医会 第252回集談会
(開催地、年月日) 沼津市、令和7年9月13日
- 4 (演題) 粘膜下浸潤が疑われた十二指腸 Brunner 腺病変に対し腹腔鏡
内視鏡合同十二指腸局所切除術を施行した1例
(発表者) 齋藤 有那、福島 尚子、坪井 一人、荒井 晶聖、武田 光
正、北村 博顕、良元 和久、吉田 清哉、鈴木 俊雅、梶本
徹也
(学会名) 静岡県外科医会 第253回集談会
(開催地、年月日) 静岡市、令和8年3月14日

〔整形外科〕

- 1 (学会名) 第13回富士ロコモティブシンドロームセミナー

- (主催者) 奥津 裕也
(開催地、年月日) 富士市・オンライン、令和7年11月25日
- 2 (学会名) 第4回富士骨粗鬆症協議会
(主催者) 奥津 裕也
(開催地、年月日) 富士市、令和8年2月19日
- 3 (学会名) 第209回静岡県整形外科医会集談会
(主催者) 奥津 裕也
(開催地、年月日) 沼津市、令和8年3月14日
- 4 (演題) 後方骨片を有する脛骨プラトー骨折の治療成績
(発表者) 笹本 翔平、稲垣 直哉、松岡 竜輝、梶原 宗太、羽尾 元史、一森 紫衣奈、西沢 剛、奥津 裕也、斎藤 充
(学会名) 第51回日本整形外傷学会学術集会
(開催地、年月日) 神奈川県横浜市、令和7年6月27日・28日
- 5 (演題) 大腿骨転子部骨折に対する髓内釘の術後回旋変形が歩行能力に与える影響
(発表者) 一森 紫衣奈、稲垣 直哉、松岡 竜輝、梶原 宗太、笹本 翔平、羽尾 元史、西沢 剛、奥津 裕也、斎藤 充
(学会名) 第51回日本整形外傷学会学術集会
(開催地、年月日) 神奈川県横浜市、令和7年6月27日・28日
- 6 (演題) 〔ミニレクチャー〕後方骨片を有する脛骨プラトー骨折の治療戦略
(発表者) 笹本 翔平
(学会名) 第209回静岡県整形外科医会集談会
(開催地、年月日) 沼津市、令和8年3月14日
- 7 (演題) 小児上腕骨近位端骨折に対して経皮的鋼線刺入術を施行した1例
(発表者) 下方 瑠美、三山 燿、三原 彪、一森 紫衣奈、笹本 翔平、奥津 裕也
(学会名) 第209回静岡県整形外科医会集談会
(開催地、年月日) 沼津市、令和8年3月14日

8 (演題) 脛骨 pilon 骨折の当院での治療戦略
(発表者) 一森 紫衣奈、三山 燿、下方 瑠美、三原 彪、笹本 翔平、
奥津 裕也
(学会名) 第 209 回静岡県整形外科医会集談会
(開催地、年月日) 沼津市、令和 8 年 3 月 14 日

9 (演題) 距骨下関節脱臼に対して創外固定術を施行した 1 例
(発表者) 三山 燿、下方 瑠美、三原 彪、一森 紫衣奈、笹本 翔平、
奥津 裕也
(学会名) 第 209 回静岡県整形外科医会集談会
(開催地、年月日) 沼津市、令和 8 年 3 月 14 日

〔形成外科〕

1 (演題) 小児の示指伸筋腱引抜き損傷に対して受傷当日に腱移行術を行なった 1 例
(発表者) 山本 武、坊 英明
(学会名) 第 40 回東日本手外科研究会
(開催地、年月日) 宮城県仙台市、令和 8 年 2 月 11 日

〔産婦人科〕

1 (演題) 婦人科良性疾患の鏡視下手術における大建中湯の有用性
(発表者) 加藤 貴史
(学会名) 第 44 回産婦人科漢方研究会学術集会
(開催地、年月日) 愛媛県松山市、令和 7 年 9 月 7 日

2 (演題) 実際の医療現場での子宮筋腫・子宮内膜症の治療～保存療法と手術療法～
(発表者) 東堂 祐介
(学会名) 富士市産婦人科医会講演会
(開催地、年月日) 富士市、令和 8 年 3 月 16 日

〔眼科〕

1 (演題) 結膜囊に見られた寄生虫の 1 例
(発表者) 藤谷 暢子、渡辺 勝
(学会名) 令和 7 年度静岡県東部眼科医会放談会

(開催地、年月日) 沼津市、令和7年9月25日

- 2 (演題) 糖尿病網膜症の早期診断・治療に繋がる連携～失明を防ぐために
- (発表者) 藤谷 暢子
- (学会名) 富士市医師会学術講演会
- (開催地、年月日) Web、令和7年12月9日

〔歯科口腔外科〕

- 1 (演題) 口腔白板症全切除例の術後経過における臨床病理学的な検討
- (発表者) 井出 正俊
- (学会名) 頭頸部表在癌研究会
- (開催地、年月日) 東京都中央区、令和7年11月8日

〔臨床検査科〕

- 1 (演題) 不規則抗体の進め方～精度管理調査の結果を踏まえて～
- (発表者) 池田 琢
- (学会名) 令和7年度第3回輸血細胞治療部門研修会
- (開催地、年月日) 静岡市、令和8年1月17日
- 2 (演題) 抗CD38抗体投与患者における治療薬投与前の不規則抗体検査が有効だった1症例
- (発表者) 関口 昂馬
- (学会名) 第12回静岡県医学検査学会
- (開催地、年月日) 静岡市、令和7年6月21日
- 3 (演題) 胎児超音波検査におけるタスクシフトの実践と経験症例の報告
- (発表者) 平松 尚子
- (学会名) 第12回静岡県医学検査学会
- (開催地、年月日) 静岡市、令和7年6月21日

〔中央放射線科〕

- 1 (演題) Carotid web って？
- (発表者) 大森 知枝
- (学会名) 静岡県放射線技師会超音波部会

(開催地、年月日) 静岡市、令和7年9月6日

- 2 (演題) Carotid web について
(発表者) 大森 知枝
(学会名) 東海超音波研究会
(開催地、年月日) 愛知県名古屋市、令和8年1月25日
- 3 (演題) 下肢静脈 US で偶発的に認めた膝窩腫瘍
(発表者) 岡根谷 侑
(学会名) 第12回 静岡超音波研究会
(開催地、年月日) 静岡市、令和7年9月20日
- 4 (演題) ASSET、ARC、HyperSENSE を使いこなそう
(発表者) 増田 裕司
(学会名) 第40回 静岡 Signa User' s Meeting
(開催地、年月日) 静岡市、令和7年10月18日
- 5 (演題) 当院カテ室における線量管理
(発表者) 三日市 憲治
(学会名) 静岡血管撮影研究会
(開催地、年月日) 静岡市、令和8年2月28日

[リハビリテーション科]

- 1 (演題) 富士骨粗鬆症協議会としての取り組み ～これまでとこれから～
(発表者) 梅原 健人
(学会名) 第4回 富士骨粗鬆症協議会
(開催地、年月日) 富士市、令和8年2月19日
- 2 (演題) 骨粗鬆症診療チーム 課題と展望
(発表者) 三國 雄河、井端 栄
(学会名) 第3回 富士骨粗鬆症協議会
(開催地、年月日) 富士市、令和7年9月25日
- 3 (演題) がん倦怠感尺度と興味関心チェックシートを活用した作業療法による生活支援の試み

(発表者) 竹川 圭亮
(学会名) 静岡県作業療法士会
(開催地、年月日) 富士市、令和7年8月5日

- 4 (演題) 私の職業は理学療法士です
(発表者) 伊藤 大地
(学会名) 静岡県立富士東高校職業講話
(開催地、年月日) 静岡県立富士東高校、令和7年11月20日

〔看護部〕

- 1 (演題) 患者・家族へのせん妄に対する正しい理解と看護師の役割
～せん妄リーフレット作成後の看護実践～
(発表者) 本間 久美子
(学会名) 静岡県看護協会 令和7年度 第25回「富士地区支部看護実践報告」
(開催地、年月日) 富士市、令和8年2月7日
- 2 (演題) コーディネーターを担う看護師支援のあり方ーペアリーダー体制とリフレクション実施後の影響ー
(発表者) 杉山 晴貴
(学会名) 静岡県看護協会 令和7年度 第25回「富士地区支部看護実践報告」
(開催地、年月日) 富士市、令和8年2月7日

〔地域医療連携センター〕

- 1 (演題) 「連携って難しい・・・」
(発表者) 小澤 純子
(学会名) 富士地区ソーシャルワーク研究会
(開催地、年月日) 富士市、令和7年4月18日
- 2 (演題) 「ソーシャルワーカーの行動の責任」
(発表者) 遠藤 卓馬
(学会名) 富士地区ソーシャルワーク研究会
(開催地、年月日) 富士市、令和7年6月20日
- 3 (演題) 「アルコール依存単身者のケース～意思決定支援と生活支援

- ～」
- (発表者) 江村 宏子
(学会名) 静岡 MSW 研究会
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 10 月 25 日
- 4 (演題) 「本来はどこまでの支援が望ましいのか」
(発表者) 佐藤 理絵
(学会名) 富士地区ソーシャルワーク研究会
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 11 月 20 日
- 5 (演題) 「誰が私のクライアント？」
(発表者) 前嶋 真理子
(学会名) 静岡県医療ソーシャルワーカー協会 3 地区合同事例検討会
(開催地、年月日) 富士宮市 (zoom オンライン開催)、令和 7 年 11 月 23 日
- 6 (演題) 「キーパーソンが担う役割とは」
(発表者) 前嶋 真理子
(学会名) 富士地区ソーシャルワーク研究会
(開催地、年月日) 富士市、令和 7 年 12 月 19 日
- 7 (演題) 「自殺未遂者への支援～MHSW が MSW に期待するもの～」
(発表者) 小澤 純子
(学会名) 静岡県ソーシャルワーク実践研究学会
(開催地、年月日) 静岡市、令和 8 年 2 月 3 日
- 8 (演題) 「判断能力がある」を考えたい
(発表者) 石川 卓敬
(学会名) 富士地区ソーシャルワーク研究会
(開催地、年月日) 富士市、令和 8 年 2 月 20 日

D. 著書・雑誌掲載論文

〔腎臓内科〕

- 1 (題名) 末期腎不全患者の巻貝摂取によって発生し遷延したテトラミン中毒の 1 例
(著者) 宮崎 令奈、片山 由里、大久保 碧、高村 毅、松本 直人、黒田 敬史、杉本 弘樹、末廣 耀平、久保 英祐、戸

崎 武、高橋 康人、笠井 健司、坪井 伸夫、横尾 隆
(発行所・年・巻・号・ページ) 日本透析医学会雑誌 2025・Vol. 58・No. 6・288P

〔脳神経内科〕

- 1 (題名) 初発症状として神経根性疼痛が主体であり、ステロイドパルス療法が有効であったギラン・バレー症候群の1例(原著論文)
- (著者) 去川 裕基、高橋 麻葵、河野 優
- (発行所・年・巻・号・ページ) 臨床神経学、2025;65:879-885

〔小児科〕

- 1 (題名) The Risk of Colonoscopy-related Bleeding in Patients With or Without Continued Treatment With an Antithrombotic Agent
- (著者) Nonaka E
- (発行所・年・巻・号・ページ) DEN Open・2025・6・1・e70175
- 2 (題名) Gastric food bolus impaction triggered by bubble tea: A rare case of pediatric gastroparesis
- (著者) Nonaka E
- (発行所・年・巻・号・ページ) Pediatr Neonatol・2025・66・4・406-407

〔外科〕

- 1 (題名) 突然の摂食不良から Wernicke 脳症をきたした食道アカラシアに対し手術療法が奏効した1例
- (著者) 坪井 一人、福島 尚子、中村 磨浪、谷津倉 融依、小俣 朋子、梅原 健人、鈴木 俊雅
- (発行所・年・巻・号・ページ) 学会誌 JSPEN 2025;7(5):233-236
- 2 (題名) 内視鏡的止血困難な持続出血により胃全摘術を施行した Menetrier 病の1例
- (著者) 鈴木 佑磨、福島 尚子、坪井 一人、鈴木 俊雅、梶本 徹也、遠藤 泰彦
- (発行所・年・巻・号・ページ) 日外科系連会誌 2025 ; 50 : 324-9
- 3 (題名) 消化管穿孔を契機に発見された卵巣転移を伴う直腸印環細

- 胞癌の1例
- (著者) 田地野 将太、福島 尚子、坪井 一人、梶本 徹也
- (発行所・年・巻・号・ページ) 日外科系連会誌 2026 ; 51 : 22-7
- 4 (題名) Preoperative occult vertebral fracture is a stronger predictor than osteopenia of the clinical outcomes after gastrectomy for gastric cancer
- (著者) Fukushima N, Masuda T, Furukawa K, Tsuboi K, Takahashi K, Yuda M, Tsunematsu M, Ikegami T, Yano F, Eto K
- (発行所・年・巻・号・ページ) Oncol Lett. 2025;29(4):179
- 5 (題名) Effectiveness of anterior gastropexy with mesh reinforcement in reducing the recurrence of giant hiatal hernia
- (著者) Fukushima N, Masuda T, Tsuboi K, Hoshino M, Yuda M, Takahashi K, Sakashita Y, Takeuchi H, Omura N, Yano F, Eto K
- (発行所・年・巻・号・ページ) Surg Endosc. 2025;39(6):3484-91
- 6 (題名) Abdominal aortic calcification predicts poor prognosis for patients with gastric cancer who underwent curative gastrectomy
- (著者) Fukushima N, Masuda T, Furukawa K, Tsuboi K, Yuda M, Takahashi K, Ogawa M, Ikegami T, Yano F, Eto K
- (発行所・年・巻・号・ページ) Surg Oncol. 2025;61:102247
- 7 (題名) Prognostic Utility of the Preoperative Cachexia Index in Patients Undergoing Emergency Laparotomy
- (著者) Fukushima N, Masuda T, Tsuboi K, Yuda M, Takahashi K, Yano F, Eto K
- (発行所・年・巻・号・ページ) Ann Gastroenterol Surg. 2026; 10:602-10
- 8 (題名) Comparison of the Prognostic Various Systemic Inflammatory Response Markers Before and After in Patients with Gastric Cancer
- (著者) Fukushima N, Masuda T, Tsuboi K, Yano F, Eto K

(発行所・年・巻・号・ページ) Jikeikai Med J. 2025; 72:67-80

〔産婦人科〕

- 1 (題名) 脊椎後湾症に対する術前の体位シミュレーションとスポンジ性リトラクターにより、腹腔鏡手術が円滑に施行し得た一例

(著者) 佐々木 貴充

(発行所・年・巻・号・ページ) 東海産婦人科内視鏡手術研究会雑誌 2025 年 Vol.13 81-87

〔中央放射線科〕

- 1 (題名) The Role of Comprehensive Brain Perfusion and Whole-Body CT Using Split-Bolus Injection in Diagnosing Multiple Thromboembolism in a Wake-up Stroke Patient: A Case Report

(著者) Inomata T, Nakaya K, Sasaki T, Shiozaki H, Noda Y

(発行所・年・巻・号・ページ) Cureus2025Jun25;17(6):e86726. doi:10.7759/cureus.86726.

- 2 (題名) Necessity of whole-body CT in patients with acute ischemic stroke and proposal for a simple brain perfusion imaging and whole-body CT protocol using split bolus injection

(著者) Inomata T, Nakaya K, Shiozaki H, Ogiwara S, Uchihara K, Noda Y

(発行所・年・巻・号・ページ) Emergency-Radiology 2025 Dec
<https://doi.org/10.1007/s10140-025-02428-0>

〔看護部〕

- 1 (題名) 特定行為看護【乳がん術後、外科的デブリードマンと創傷への陰圧閉鎖療法を実施した事例】

(著者) 若林 久美子

(発行所・年・巻・号・ページ) ベクソンインターナショナル株式会社・2025・Vol2・No2・p50

- 2 (題名) INFECTION CONTROL【10 ミニッツで伝える！手指衛生】

(著者) 勝又 陸

(発行所・年・巻・号・ページ) メディカ出版・2025・4月号・47頁

〔地域医療連携センター〕

- 1 (題名) 「周産期領域のソーシャルワークを大変と感じさせるもの
 ～静岡県内の周産期母子センターへのインタビュー調査を通
 して～」
- (著者) 前嶋 真理子
- (発行所・年・巻・号・ページ) 医療ソーシャルワーク 2024 53 号

第 42 回 富士市立中央病院学術集会

(病院職員による院内の学術発表)

開 催 日：令和 7 年 8 月 29 日 (金)

会 場：富士市立中央病院 2 階 大会議室

構 成：第 1 部：一般演題、第 2 部：実施なし

第 1 部：一般演題

【診療技術部】座 長：加藤 寛史 (診療技術部長)

1 『院内製剤の品質確保～5000倍ボスミン着色事例からの検討～』

発表者：薬剤科 倉田 陽加

2 『気管切開後に経口摂取再開に難渋した 1 症例』

発表者：リハビリテーション科 古木 朋世

3 『R S Tにおける歯科衛生士の活動報告』

発表者：医療技術科 長橋 あゆみ

【看護部】座 長：渡邊 葉子 (副看護部長)

(※地域医療連携センターを含む)

4 『手術室看護師からみたオペラノート導入による効果』

発表者：手術室 芦川 かおり

5 『患者のそばにいられる取り組みについて』

発表者：5A病棟 山本 美保子、猪股 美紀

6 『抗菌薬適正使用チーム (AST) における

看護師特定行為の活用とその実践報告』

発表者：感染対策室 勝又 陸

【診療部】座 長：佐野 透 (医局長)

7 『膵臓病に対するFNA－当院での取り組み－』

発表者：消化器内科 桐生 幸苗

8 『大動脈疾患の至適紹介時期』

発表者：心臓血管外科 遠藤 由樹

9 『脊椎圧迫骨折の新しい低侵襲治療』

発表者：脳神経外科 佐野 透

受賞結果：最優秀賞

『患者のそばにいられる取り組みについて』

発表者：5A病棟 山本 美保子、猪股 美紀

優秀賞（2 演題）

『気管切開後に経口摂取再開に難渋した 1 症例』

発表者：リハビリテーション科 古木 朋世

『膵臓病に対する FNA－当院での取り組み－』

発表者：消化器内科 桐生 幸苗

富士市立中央病院 市民公開講座

開催日：令和7年5月29日（木） 19：00～20：20

会場：富士市文化会館ロゼシアター 小ホール

講座名：第32回市民公開講座

『あなたにしか救えない命がある～AED解禁20年の歩み～』

講師：武田 聡（東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座 主任教授）

座長：光永 敏哉（東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座 講師）

参加人数：114名

特記事項：会場のみ

開催日：令和7年11月22日（土） 10：00～11：30

会場：富士市立中央病院2階 大会議室 およびオンラインライブ配信

講座名：第33回市民公開講座

『心臓病と心臓外科医の仕事』

講師：深田 靖久（富士市立中央病院 心臓血管外科 部長）

座長：國原 孝（東京慈恵会医科大学 心臓外科学講座 主任教授）

参加人数：89名

特記事項：会場とオンラインライブ配信のハイブリッド開催

初の試みとして土曜日午前に開催

第 39 回 富士シンポジウム

開催日：令和 7 年 6 月 12 日（木） 19：00～20：40

会場：富士市立中央病院 2 階 大会議室 およびオンラインライブ配信

座長：三槁 真（富士市立中央病院 医局長、整形外科副部長）

阿部 素郎（富士市医師会 生涯教育委員長、阿部眼科医院院長）

テーマ：『各科の話題・トピックス』

講義：①「糖尿病と眼合併症」

中島 拓矢（なかじま眼科 院長）

②「富士医療圏におけるリウマチ診療のかたち

～地域で繋ぐリウマチ診療の実践を目指して～」

伊藤 晴康（富士市立中央病院 リウマチ・膠原病内科 部長）

③「ハイリスク症例に対する心臓手術」

深田 靖久（富士市立中央病院 心臓血管外科 部長）

参加者数：会場 86 名（富士市立中央病院：70 名、富士市医師会：16 名）

オンライン 24 名 合計：110 名